

国立大学法人に特有の会計

国立大学法人は民間企業と異なり、
・主たる業務が教育・研究である
・利益の獲得を目的としていない

そのため、民間企業とは異なる基準（国立大学法人会計基準）に基づき、財務諸表等を作成しています。

民間企業ルール ≠ 国立大学法人ルール



通常の活動を行った場合は、基本的に損益が均衡

費用 = 収益

決算上利益が生じた際には、民間企業とは異なる処理を行います。

企業とは単純に比べられないんですね。

大阪大学未来基金“創立100周年ゆめ募金”

大阪大学は、平成21年5月に「大阪大学未来基金」を設置し、大学自らが募金活動を行っております。そして、平成25年10月から、創立100周年を迎える2031年に向けて、“創立100周年ゆめ募金”を開始しました。将来の大阪大学の研究活動の推進や、未来の阪大生の人材育成に活用するほか、現在の学生や研究者の教育研究環境の充実のために還元しています。

国際交流

海外留学費用の援助、
外国人留学生への奨学金

学生支援

積極的な学生への
顕彰・助成

活用事例

研究者支援

学会への派遣など
若手研究者への支援

社会貢献

大阪大学シンポジウムの
開催サポート

詳細はウェブページをご覧ください。

大阪大学未来基金 検索 www.miraikikin.osaka-u.ac.jp

国立大学法人大阪大学の詳しい
財務情報や活動内容については、ホームページ
(<http://www.osaka-u.ac.jp/>) をご覧ください！

発行：大阪大学財務部資産決算課

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1
TEL 06-6877-5111



Financial Report 2015

平成26事業年度 国立大学法人大阪大学 財務レポート2015

ワニ博士が解説！

ほう！阪大の
会計収支は
こうなっているんですね。

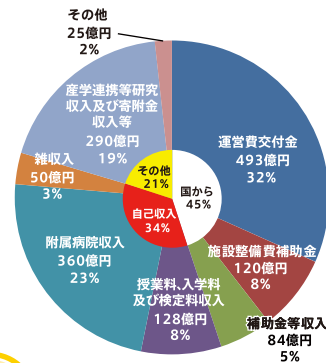
こちらから
スタート

大阪大学の収入額（受入額）－決算報告書（収入）－

(単位：億円)

区分	金額
運営費交付金	493 (484)
施設整備費補助金	120 (131)
補助金等収入	84 (145)
授業料、入学金及び検定料収入	128 (128)
附属病院収入	360 (359)
雑収入(含研究関連収入)	50 (51)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	290 (272)
以下、その他内訳	
財産処分収入	5 (0)
国立大学財務・経営センター	1 (1)
施設費交付金	1 (1)
引当金取崩	1 (1)
長期借入金収入	18 (15)
計	1,555 (1,594)

() 書きは前年度実績



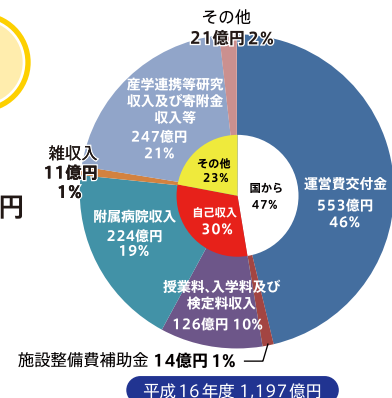
平成26年度 1,555億円

収入の半分近くが
国からのお金です。

平成16年度(法人化初年度)
と比べると・・・

受入額の総額は増加
1,197億円 ▶ 1,555億円

一方で
運営費交付金は減少
553億円 ▶ 493億円



平成16年度 1,197億円

大学の活動規模は大きくなりましたが、教職員の給与や設備の更新などの活動の根幹を支える財源である運営費交付金の減額により、大学の運営が年々厳しい状況となっています。

教育・研究活動を維持するために

・経費節減
・継続的な活動資金(外部資金)の獲得
に努めていかないといけないんですね。



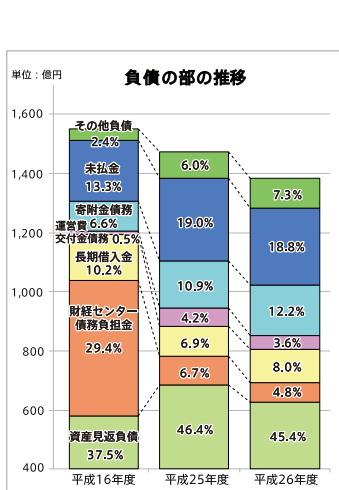
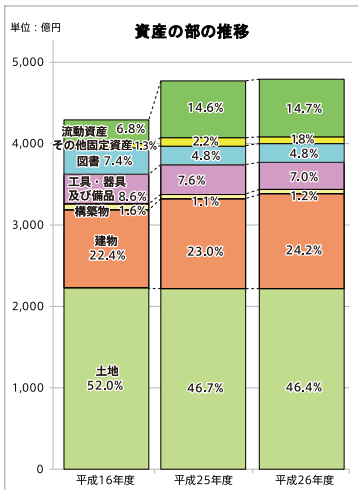
大阪大学の資産と負債 —貸借対照表—

() 書きは前年度実績 (単位: 億円)

資産の部		負債の部	
土地	2,226 (2,229)	資産見返負債	625 (681)
建物	1,160 (1,101)	財經センター債務負担金	65 (97)
構築物	58 (51)	長期借入金	110 (101)
器具・備品等	334 (362)	運営費交付金債務	49 (61)
図書	230 (229)	寄附金債務	167 (160)
その他固定資産	85 (106)	未払金	258 (278)
流動資産	707 (697)	その他負債	100 (87)
資産合計	4,802 (4,777)	負債合計	1,378 (1,468)
		純資産の部	
		資本金	2,846 (2,850)
		資本剰余金	169 (85)
		利益剰余金	373 (334)
		当期末処分利益	34 (39)
		純資産合計	3,423 (3,309)
		負債・純資産合計	4,802 (4,777)

主な増減要因

- ・建物の増加(資産+59億円)
(吹田)総合研究棟(工学系)(総工費17億円)、
(吹田)総合研究棟(薬学系)(総工費12億円)等の完成
- ・資産見返負債の減少(負債△55億円)
国立大学法人特有の会計ルール(損益均衡)に基づき計上される負債の減少



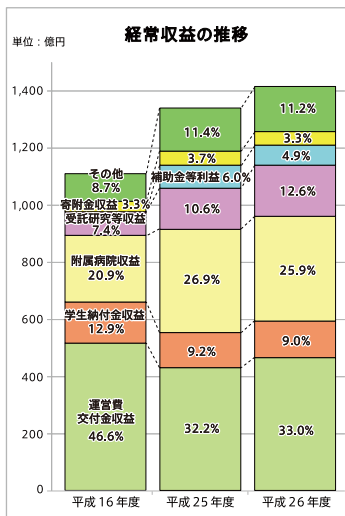
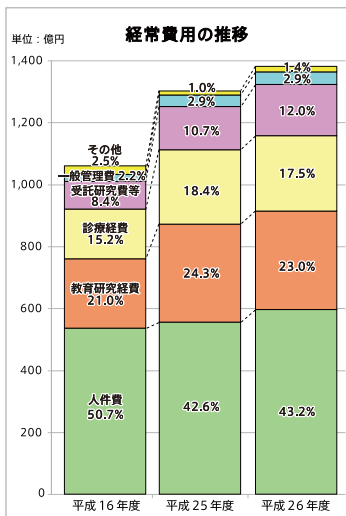
大阪大学の運営状況 —損益計算書—

() 書きは前年度実績 (単位: 億円)

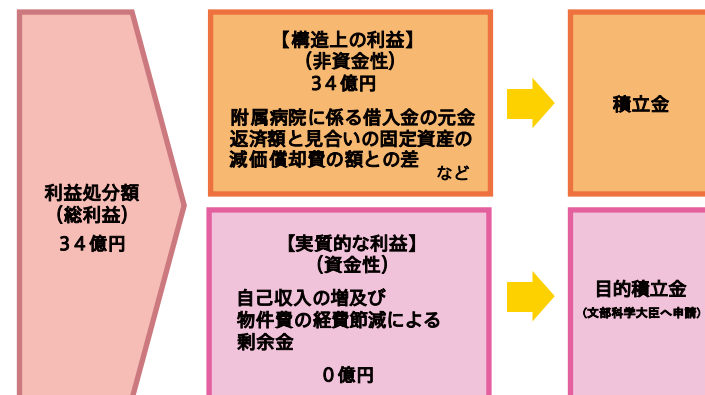
経常費用		経常収益	
人件費	596 (555)	運営費交付金収益	467 (432)
教育研究経費	318 (316)	学生納付金収益	127 (123)
診療経費	241 (240)	附属病院収益	367 (361)
受託研究費等	166 (139)	受託研究等収益	178 (142)
一般管理費	39 (38)	補助金等収益	69 (80)
その他	19 (12)	寄附金収益	47 (49)
経常費用合計	1,381 (1,302)	その他	157 (152)
		経常収益合計	1,416 (1,342)
臨時損失		臨時利益	
費用計	1,381 (1,303)	収益計	1,416 (1,342)
当期総利益	34 (39)	前中期積立金取崩	0 (0)
計	1,416 (1,342)	計	1,416 (1,342)

主な増加要因

- ・人件費(経常費用)／運営費交付金収益(経常収益)の増加
(定年延長及び給与削減措置の終了)
- ・受託研究費等(経常費用)／受託研究収益(経常収益)の増加
(受託研究費獲得額の増加)



大阪大学の利益 —利益の処分にに関する書類—



国立大学法人(特に附属病院を持つ大学)は、決算上非資金性の(現金の無い)利益が生じます。一言に「利益」と言っても、民間企業における利益(儲け)とは性質が違いますね。



大阪大学が国民の皆様へ負担して頂いているコスト 業務実施コスト計算書

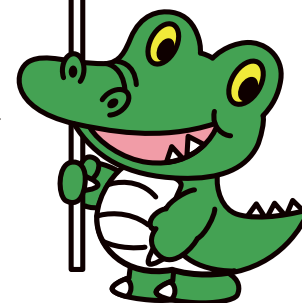
(単位: 億円)

区分	金額
業務費用	591 (562)
その他のコスト	57 (65)
計	648 (628)

() 書きは前年度実績

国民一人当たりだと
511円

国民の皆様、
ありがとうございます



お金がかかるんですね。

平成16年度(法人化初年度)と比べると・・・
・資産は増加(教育・研究・診療を行うための建物等が増加しています)
・負債は減少(主に借入金が増えています)
教育・研究・診療に必要な新たな施設を整備する一方、古くなった建物等の施設の改修も併せて行っています。



平成16年度(法人化初年度)と比べると・・・
・経常費用、経常収益ともに増加
大阪大学の活動規模が大きくなっています。

『地域に生き世界に伸びる』をモットーとして、
更なる進化・発展に努めていかねばなりません。